

おごせ 教育 Pick Up



越生小学校

6月14日、県の小松教育長による学校訪問がありました。授業を視察された小松教育長からは、「子どもたちの良いところを引き出している授業だった」との言葉をいただきました。学力向上に取り組む小学校としては、大変心強い言葉となりました。

梅園小学校

梅園小学校春季大運動会が6月2日に行われました。スローガンは「熱い心 燃える梅小！力を合わせ 優勝目指し がんばろう」

子ども達も、お家の方も、地域の方もみんな一緒に、力いっぱい演技に競技に汗を流しました。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。

越生中学校

6月15日から、学校総合体育大会が始まります。この大会は多くの3年生にとって最後の大会です。参加する部活に、生徒会からエールが送られました。ベストを尽くせ越中生！



ズームイン教育252
いつでも
元気・本気・根気
の梅園小

梅園小学校では、「いつでも元気・本気・根気」の梅園小」を児童と教職員の合い言葉に、「知」「徳」「体」のバランスのとれた児童の育成を目指しています。子どもたちが安全で安心でき、保護者や地域からさらに信頼される開かれた学校をつくるため、全職員が「以和為貴」の精神で努めていきます。

- 「かしこく」＝学力の定着
- 「わかつた」「できた」「楽しい」授業を実践し、学力の定着を図ります。
- 漢検、英検などを実施し、自主学習・家庭学習の意欲付けを行います。
- 人前で堂々と分かりやすく自分の意見を発表する力を育てます。
- 「やさしく」＝豊かな心の育成
- コミュニケーションを通し、豊かな心を育みます。



収穫祭に向けてサツマイモの苗を全校児童で植えました。

- 様々な体験活動を通して豊かな心を育みます。
- 越生小や越生中との連携を計画的に行います。
- 「たくましく」＝たくましい心と体の育成
- 朝マラソンやチャレンジタイムで体力をつけます。
- 規則正しい生活習慣を身につけて健康な体をつくります。
- 何事にも挑戦し、たくましさや最後までやり抜くねばり強さを育てます。
- 「安全・安心な学校」
- いじめ、暴力、不登校、交通事故を「ゼロ」にします。
- 登下校の見守りを実施します。
- 「家庭や地域に開かれた学校」
- 保護者や地域との連携をさらに深めます。
- 学校応援団の活用を図ります。
- これらの取り組みを核とし「凡事徹底」の精神で、学校経営に努めます。

越生浪漫

No. 114

澁澤平九郎追懷碑



「澁澤平九郎追懷碑」深谷市血洗島 澁澤栄一生地

今年、慶応4年（1868）5月23日の澁澤平九郎の殉難から百五十周年です◆百年前の大正7年（1918）5月23日、東京谷中の澁澤家墓地で「澁澤平九郎追懷碑」の除幕式が挙行されました。江戸神田の飯偶の障子に大書

した平九郎の雄渾と、澁澤栄一の悲痛な思いが心を打つ、高さ3m近い名碑です◆この碑は、平成26年に深谷市の澁澤栄一生地（埼玉県指定旧跡）に移設されました。近くの澁澤栄一記念館では、7月29日まで「幕末のイケメン！澁澤平九郎展」が開催中です。

碑文

人の楽しみを羨しむ者は人の愛を憂う
 楽人之樂者憂人之憂
 人の食を嗜う者は人の事に死す
 喰人之食者死人之事

昌忠

嗚呼、これは我が義子平九郎が義を取るの前日、自ら寓舎の障壁に題するの辞なり。明治戊辰五月官軍江戸城に入る。平九郎年なお少くして主の憂

第27回 越生町生涯学習町民のつどい
 —澁澤平九郎没後150年 講演会と説経節公演—
 日時：平成30年9月9日(日)午後1時～4時
 講演会：講師 桑原功一氏（澁澤史料館副館長）
 説経節：「飯能の嵐 澁澤平九郎自刃の段」
 三代目若松若太夫（東京都指定無形文化財保持者）
 共演（人形浄瑠璃）：三芳町竹間沢車人形保存会
 （埼玉県指定民俗文化財）
 会場：越生町中央公民館視聴覚ホール
 主催：越生町生涯学習推進協議会 後援：澁澤史料館

いを坐視するに忍びず、すなわち振武軍に投じ、廿三日遂に命を草野に殞す。甲午家祭の日、人ありてその戦役の時佩ぶる所の刀を予に贈る。悲喜交々至り、詩を賦して曰く。日月明あり能く冤を雪ぐ九原豈に幽魂を慰めざらんや遺刀今夜燈りを挑て見るに。なお当年の碧血痕を剩す。これその孤忠を憫むなり。今ここに丁巳五十年の忌辰に、重ねて遺墨を展じ、追悼の情に勝えず、乃ち鈞摹刻石して以てその志を見すと云う。
 大正六年十二月
 義父 澁澤栄一識并題額

おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.75

ゴイシジジミ

「チョウ目シジミチョウ科」

ゴイシジジミは非常に変わった蝶です。幼虫は植物を食べません。ススキやタケの葉につくアブラムシ類を食べる肉食で、カンシヤワタアブラムシ、タケツノアブラムシ、ササコナフキツノアブラムシなどを食べます。埼玉県内ではアスマネザサにつくササコナフキツノアブラムシだけを食べています◆成虫の翅の表は黒一色ですが、裏面には白い地色に黒い斑点があります◆本種は年4回発生していると思われ、5月～10月に見られます。成虫は通常薄暗い林床のササの上を弱弱しく飛びますが、ときには長距離を素早く飛ぶこともあるようです◆発生量には、年によって大きな変動があります。アブラムシの発生量が影響しているこ

とは明らかです。埼玉県の平野部では2000年から激減し、現在、ほとんどその姿が見られません。ササコナフキツノアブラムシが、なぜか激減してしまっただけです◆本種の「餌」になっている、タケツノアブラムシとササコナフキツノアブラムシの1齢幼虫には、普通の幼虫の他に、「兵個体」がいます。兵個体は2齢幼虫にならず、もちろん成虫になりません。外敵を攻撃するためだけの、不妊の幼虫個体なのです。この兵個体は、ゴイシジジミの幼虫に対してはあまり有効な働きをしていませんが、時には、若齢幼虫を殺すこともあります。

（巣瀬 司）



ゴイシジジミチョウの裏面